

慶應長距離通信 2022 年 10 月号

執筆者：小林真維

日頃より私たち長距離ブロックの活動のご理解、ご協力ありがとうございます。
慶應義塾体育會競走部長距離マネージャーの2年の小林です。
夏が終わり、秋の涼しさを感じる季節となりましたがいかがお過ごしでしょうか。
約一週間前に行われました箱根駅伝予選会、多大なるご支援と応援ありがとうございました。
今月号は、箱根駅伝特集号になります。是非ご一読ください！

第 99 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会

10月15日（土）、陸上自衛隊立川駐屯地～立川市街地～国営昭和記念公園（東京）にて第99回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が開催されました。開催にあたり、皆様には夏合宿からの欲しいもののリスト、クラウドファンディング等沢山の形になるご支援を頂きました。その他、応援メッセージ等は、形には残らずとも私たち長距離ブロックの心には一生涯残るものであり、原動力でもあり非常に励みになりました。

結果としては、総合11時間07分2秒、26位とチームとして非常に悔しい結果となってしまいました。
この予選会通じて経験したこの悔しさはこの競技生活で忘れてはいけないと思っております。

エントリーメンバー14人中11人がまだ長距離ブロックには在籍しています。
来年再来年度予選会、経験者が多くいることは確実に強みです。
この予選会を忘れることなく、一年間通して泥臭く諦めずに再出発しております。
今後とも長距離ブロックの応援、宜しくお願い致します。

結果報告

田島 公太郎（環境2・九州学院） 30位 1:03:25	貝川 裕亮（環境4・美濃加茂） 85位 1:04:31 学連選抜候補!!
森田 剛史（経済4・慶應湘南藤沢） 194位 1:05:58	安田 陸人（商1・開成） 263位 1:06:56
黒澤 瑛紀（総3・新島学園） 283位 1:07:17	前原 裕磨（法4・熊谷） 301位 1:07:29
田口 翔太（政2・慶應志木） 306位 1:07:32	東 叶夢（環1・出水中央） 316位 1:07:51
鳥塚 健太（理工2・市立金沢） 324位 1:07:59	安倍 立矩（理2・厚木） 329位 1:08:04
鈴木 太陽（環1・宇都宮） 354位 1:08:45	橘谷 祐音（理2・新潟） 367位 1:09:19

関東学生連合チーム候補選出！

貝川裕亮（環境4・美濃加茂）が、85位 1:04:31の記録で関東学生連合チームの11番候補に選出されました。16年陸上を続けた貝川の思い、必見です！

また、補欠を含む予選会エントリー選手14名からコメントを頂きました。
一人一人の思いを是非ご一読ください。



ご支援、ご声援本当にありがとうございました。

僕自身、4回目にして最後の予選会でした。自身の持ち味であった"安定感"を捨ててでも、勝負に出ようという気持ちで挑みました。16年間の全てを出し切り、過去最高の走りができたのではないかと考えております。皆様のご声援やチームメイト、コーチの存在が力になり、苦しくても最後まで踏ん張り切ることができました。

チームでの箱根出場は叶わず、非常に悔しい思いをしましたが、個人で学連11番目の候補ということで、箱根のチャンスを掴むことができました。応援してくださる皆様、来年度こそ本戦出場を狙う後輩達、夢を託してくれた先輩、同期のためにも、もう2ヶ月箱根出走のために頑張ってまいります。

予選会エントリーメンバー

沢山のご声援を頂き誠にありがとうございました。

ここまで積み上げたものがありながら本番で100%を発揮できず、チームは非常に苦い結果を味わうこととなりました。やはり箱根への壁は並大抵の思いで乗り越えられるものではなく、我々の覚悟もまだそれに達してしなかったことを身をもって思い知りました。しかし、もう既に新しい戦いはスタートしています。ここで再度振り出しに戻る暇はなくこのまま更なる強化を図っていく必要があります。

今回の結果を着火剤に、何としても来年はチーム皆で本戦への切符を掴み取りに参りますので、引き続き温かいご支援の程よろしくお願い申し上げます。（田島）



今年の前半シーズンはなかなか結果が出せず、重苦しい雰囲気の中で予選会に望み26位となってしまいました。

（一重に上級生の責任、また他校との力の差を目の当たりにしました。）

ただその中でも田島や貝川のように上位で競い合える人もいます。来年以降、そのような選手が1人でも増え、予選会突破ができるようIOBとして選手を支えられたらと思います。

4年間、満足のいく練習や生活が送れたのはOBOGをはじめとするたくさんのご支援があったからです。

改めて感謝申し上げます。（森田）



まずは沢山のご支援、ご声援ありがとうございました。
走ってみて1番感じたのは、応援の力の凄さです。
中高の部活が人数が少なかったこともあり、ここまでいろんな方に応援される経験がありませんでした。予選会では、競走部以外の方々からも激を飛ばされ、パワーがみなぎる感覚がありました。しかし、もちろん現状の走力ではトップで戦うことはできません。今年は、受験ブランク等で、本格的に準備できる期間が短かったですが、この一年しっかり練習を積み、自信を持って来年の予選会に臨みたいです。
これからも応援の程よろしくお願いします！（安田）



熱いご声援、本当にありがとうございました。皆様の声援が追い風となり、苦しい場面でも折れずに駆け抜けることができました。
結果は個人 283 位、総合 26 位、チーム内 5 位と、皆様の期待を裏切ってしまう形となりました。来年は泣いても笑っても最後のチャンスになります。最上級生として、背中でチームを引っ張れる存在になれるよう、今後も精進して参ります。そして、来年こそは箱根駅伝本戦の切符を掴み取り、皆様に恩返しをします。
続き温かいご声援よろしくお願ひいたします。（黒澤）

日頃より多大なご支援ご声援を賜まして誠にありがとうございます。
先日行われた箱根駅伝予選会は 11 時間 07 分 2 秒、総合 26 位で、昨年より順位を落とす結果となってしまいました。
今年度は合宿での差し入れやクラウドファンディング、グッズ販売など、これまで以上に増して沢山の方々から多くのご支援やご声援をいただきました。
そのようななか「箱根駅伝出場」という結果で恩返しをできなかったことについては、とても大きな悔しさが残ります。
後輩たちにはこの悔しさを来年の予選会で晴らしてくれることを願います。（前原）



まずは支援、応援してくださった方々本当にありがとうございました。
今回の結果で改めて他大学との差を知りました。
ただ、個人的に今回の予選会を走って思うことはすごく楽しい場所だと感じました。去年入部した自分に「とんでもない場所で走ってるぞ」と言ってあげたいです。予選会というのはその位輝いていた舞台でした。今回走ったからと言って来年走れる保証はこれっぽっちもありません。だからこそ落ち込まずに少しでも速く走れるように練習を積んでいきたいと思います。次はチームの中心選手の1人として戦います！（田口）



スタートまでのご支援、そして当日のご声援を受け、慶應は箱根に出ていなければならないチームであると強く感じました。

思えば、今年は自分の事に精一杯でチームにあまり貢献出来ていません。

26位という結果を忘れず、来年はエースとして陸の王者を牽引する「覚悟」を持って競技に取り組みます。期待に応えたいです！（東）

先日 10/15 に行われました、箱根駅伝予選会に出場し、結果はチーム 26 位、個人では 324 位と、非常に悔しい結果に終わってしまいました。今シーズンは、度重なる故障の影響で、年間を通して十分な練習を積めていなかったことが大きく影響してしまったと思います。来年こそは怪我無く、1 年を通して練習を積み、ハーフマラソンに耐えられる脚作りをしていこうと思います。

この度は多大なるご支援・ご声援をいただき、誠にありがとうございました！（鳥塚）



今年は怪我による離脱期間も長く、十分な下積みをしていない中での出走となってしまいました。

今回の結果から、やはり箱根に出場するには 1 年間真摯に陸上競技に向き合い、継続して練習する必要があると痛感するレースになりました。

クラファンをはじめ多大なる応援、支援のほどありがとうございました。

来年こそ結果で返せるよう長距離ブロック一同努めてまいります。（安倍）



たくさんの温かく、アツイ応援をありがとうございました。自分は 354 位、チーム内 11 番手と、全く戦力になることができませんでした。チームとしても 26 位と昨年より大きく順位を落としてしまい、様々な思いで複雑です。しかし、僕たちは、そして僕はこんなものではありません。1 年生でこの舞台を味わえたこと、そしてこの負けを経験できたことは、活かすも殺すも自分次第と考えています。今後の成長にご期待ください🔥（鈴木）





こんにちは。総合政策学部2年の木村です。
箱根予選会の応援、ありがとうございました。
自分としましては、昨年のリベンジで上位で走ることを
目標にし練習を重ねてきましたが、直前の不調により当
日は補欠に回ることになりました。

チームとしても自分としても悔いの残る結果になってし
まったのでしっかり反省をしてまずはこれからの記録会
につなげていきたいと思います。(木村)

自分にとって初めてのハーフマラソン、初めての予選
会でしたが、自信を持ってスタートラインに立つこと
ができました。結果はチーム12位と、ゴール後は情け
なくてチームメイトに目も合わせられませんでした。
その日は間違いなく今までの人生で1番のどん底でし
た。順位発表の際に慶應義塾大学の名前を緊張して待
つことさえできなかった悔しさを1年忘れずに、別人
のように強くなって来年必ずリベンジを果たします。
たくさんの応援ありがとうございました。(橘谷)



1年生から登録メンバーに選出していただき、たくさん
の応援、想いを背負って臨んだ箱根駅伝予選会。
今回は一選手としても、そしてチームとしても悔しい結
果となってしまいました。
予選会出走に向け、出来ることを最大限に取り組んだも
のの上手く調子が合わず出走に至れなかったこと。チー
ムで掲げていた箱根駅伝出場に及ばなかったこと。
この悔しさを忘れず、100回大会での出走、そして箱根
駅伝出場を成し遂げたいと思います。(島田)



記録会結果報告

10月22日(土) 第99回平成国際大学長距離競技会

男子5000m

安田陸人(商1・開成)	14' 33" 13 PB!!	田口翔太(政2・慶應志木)	15' 32" 42
-------------	-----------------	---------------	------------

今後の予定

- ・10月30日(日) 第2回 ALL KEIO
- ・11月、12(土) 13日(日) 第300回日体大記録会
- ・11月20日(日) 10000m記録挑戦会@国立競技場